Ver.3 以前のBVシリーズをご利用のお客様へ

レイヤとシートの関係について

Ver.3 以前のお客様が Ver.7 へ移行する場合、ご注意ください

SXFの仕様を採り入れた為、BV シリーズ Fourth(Ver.4)以降、「レイヤ」に加え「シート」という機能が追加されました。これ は住所の番地のようなもので、直線一本描いた場合、その線が「何シート」の「何レイヤ」という場所に格納されます。

また、Ver.7 で描かれた図形を TYPE-C(Ver3 形式、拡張子は同じ)で保存する場合にも注意が必要です。レイヤ分けして 描いた図形が一つのレイヤにまとまる場合があります。これは「シート」機能が追加されたためです。

以上、2つについてご説明いたします。

I レイヤとシート

Ⅱ旧バージョン(Ver3)とのデータの互換性について

Iレイヤとシート

Ver.3 以前では縮尺の設定を「レイヤ」に対して行っていました。Ver.4 以降は SXF の仕様を採り入れましたので、縮尺の 設定方法が変わりました。

-	覧操作				2	K
	レイヤ番号	レイヤ名	状態	縮尺	詳細 ▼	
	0 1 2 3 4 5 6 7 7 8 8 9 10 11 12 12 13 14 15	四寸文四寸文四寸文門法字角法字	書ササ表表表表表表表表表表表表し、「示示示示示示示示示示示示示示示示示示示示示不不不不可能。」「「「「」」「「」」「「」」「」」「」」「「」」」「」」「」」」「」」「」」	1/1 1/1 1/2 1/2 1/2 1/5 1/5 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1	 優先項目 レイヤ番号 レイヤ番 レイヤ追加 非表示層 表示層 サーチ層 書込み層 縮尺設定 レイや名変更 拡張レイヤ データ削除 削除キャク地 	
					<u>全選択</u> 閉じる	

Ver.3 のレイヤー覧····Ver.3 はここで縮尺を設定します。

1.部分図について

SXF では図面の管理は「レイヤ」と「部分図」の2つになります。「レイヤ」は通常通り作画する場所です。「部分図」とは縮尺を設定する場所です。「レイヤ」には縮尺を持っていません。

一つの図面に複数の縮尺の図形を表示させる場合、まず縮尺を設定した部分図(領域)を作り、その中に通常通り(レイヤ毎 に)図形を描きます。レイヤは各部分図で共有します。AutoCAD で言う「ビューポート」に近い概念です。



BV シリーズでは「部分図」を「シート」と呼んでいます。画面下に「用紙」、「シート1」、「シート2」というタブがあります。これが「シート(部分図)」です。



BV シリーズでは、シートに縮尺を設定します。複数の縮尺がある場合は[シート]-[一覧操作]でシートを追加し、それぞれの縮尺を設定します。



2.レイヤとシートの関係について

レイヤとシートの関係は下右図のようになります。1つのレイヤに対して複数のシートを持たせることができます。



上図の例で説明しますと、縮尺の違う「四角」を描く場合、Ver.3 では 0 レイヤと 3 レイヤの2つレイヤが必要となりますが、 Ver4 以降では 0 レイヤのみで 1/1 と 1/2 の縮尺のシートに「四角」を描くことができます。

[レイヤ]-[分割表示]でレイヤの一覧を表示します。



レイヤごとに描かれた図形が一覧表示されます。レイヤには縮尺がありませんので、1/1、1/2、1/5 に描かれた図形が同じ レイヤ名ごとにまとまって表示されます。

[シート]-[分割表示]でシートの一覧表を表示します。

用紙			シート1		シート2		シート3
) i		1	[]	2	[]	3	
					8		
l	İ		ii		ii		ii

シート(縮尺)ごとにまとまって表示されます。

3.「用紙」シートについて

「用紙」シートは図面枠を描く専用のシートです。1/1 に固定されています。「CAD 製図基準(案)」では図面枠の余白、表題 欄のサイズは現寸で規定されています。原則、図面枠以外は作図しない様、お願いいたします。 4.JW_CAD レイヤ構成について

JW_CAD のレイヤは1グループにつき16レイヤまでしかありません。縮尺はグループごとに設定します。 縮尺の違う「四角」を描く場合、グループごとに縮尺を設定し、各グループごとに「四角」「寸法」「文字」のレイヤが必要となり ます。

JW_CAD のグループとBVシリーズのシートとは同じものではないので、ご注意ください。



BV のデータを JW_CAD 形式に変換する場合、16 レイヤ以降に描かれた図形は出力しません。これは JW_CAD が 1 グルー プにつき 16 レイヤまでだからです。16 レイヤ以降はシートを追加し、1 シートにつき 16 レイヤを使用している様にレイヤ 16 以降の図形をシート移動します。



Ⅱ旧バージョン(Ver.3)とのデータの互換性について

Ver.4 以降には「シート(部分図)」の概念が導入されたため、旧バージョンとデータの互換性に注意をお願いします。 下図は Ver.3 の画面およびレイヤー覧表です。





レイヤ構成:レイヤ 0~9 までは縮尺 1/60、レイヤ 10~11 までは縮尺 1/20

1.旧バージョンのデータ読み込み方法

2種類の読み込み方法があります。

A.レイヤ分解

[ファイル]-[外部入出力設定]-[BVF]で「設定有効」、「レイヤ分解」にチェックを入れて[OK]ボタンを押します。 通常通りファイルを読み込みます。

設定有効 レイヤ・シート)	初期化	
 レイヤ分解 	K5	う解 「 寸法・ハッチ以外の属性解除	
種魚変換			
BV-A線種名	BV-J線種名	BV-J線幅名	
実線1	実線	0.13mm	
成線1	破線	0.13mm	
5線1	点線	0.13mm	
→点鎖線1	一点鎖線	0.13mm	
二点鎖線1	二点鎖線	0.13mm	
実線2	実線	0.18mm	
実線3	実線	0.25mm	
実線4	実線	0.35mm	
実線5	実線	0.5mm	
実線6	実線	0.7mm	
実線7	実線	1.0mm	
実線8	実線	1.4mm	
成線2	破線	0.18mm	
皮線3	破線	0.25mm	
皮線4	破線	0.35mm	
5線2	点線	0.18mm	
5線3	点線	0.25mm	
気線4	点線	0.35mm	
→点鎖線2	一点鎖線	0.18mm	
→点鎖線3	一点鎖線	0.25mm	
→点鎖線4	一点鎖線	0.35mm	
- 占領線ク	一占領線	018mm	-

読込後、[レイヤ]-[一括操作]でレイヤー覧表を見るとレイヤ構成を維持しています。



[シート]-[一括操作]でシートー覧表を見ると縮尺ごとに分解されています。



B.シート分解

[ファイル]-[外部入出力設定]-[BVF]で「設定有効」、「シート分解」にチェックを入れて[OK]ボタンを押します。 通常通りファイルを読み込みます。

読込後、[レイヤ]-[ー括操作]でレイヤー覧表を見るとレイヤ構成を維持しています。



[シート]-[一括操作]でシートー覧表を見るとレイヤごとの構成がシートごとにも分解されています。



この際、シート0番は「用紙シート」専用となりますので、レイヤ0に描かれていた図形がシート1にずれます。

2. VER.7 で作成した図面データを Ver3 で読込可能にさせる場合

[ファイル]-[名前を付けて保存]でファイルタイプを「BV-C」にします。

名前を付けて保存							? ×
保存する場所型:	🕝 デスク	トップ		•		* 🎟 •	
🔁 マイ ドキュメント 🥃 マイ コンピュータ 👻 マイ ネットワーク							
, ファイル名(<u>N</u>):	平詳詳細	×				保存(S)	
ファイルの種類(工):	BV 図面	(*.bvf)			•	キャンセル	
図面情報			 		77	11.5/7°.	K
タイトル					BV	-C 🔽)
タイトル(フリカ	*†)		 		*	-9*:	
サブタイトル	(フリガナ)				17	- •	
作成者	(7711 77		 			スワード他	
, 作成者(フリガナ)	ĺ				表示沙卜登録	

このデータを Ver3 で読み込むと、レイヤ毎に分かれて描かれた図面は1つのレイヤにまとまってしまいます。

0		5	3
1.	· L		

この場合、縮尺の違う図形がありますので、同じ縮尺同士が一つのレイヤにまとまります。

前項の「B.シート分解」の「[シート]-[ー括操作]でシートー覧表を見るとレイヤごとの構成がシートごとにも分解されていま す。」の様に図形をシート移動し、レイヤごとに分かれて描いた図形をシートごとに描かれた様に移動します。 Ver3のデータを読込み→作図→再び Ver3の形式でデータ保存する場合は、あらかじめ「シート分解」にチェックを入れて読 み込んでください。シート0は「用紙シート」と言う専用のシートの為、レイヤ番号が1つづつズレて保存されます。 図形の移動は[シート]-[シート移動]で行います。詳しい操作方法は「リファレンスマニュアル」をご参照ください。

3. Ver.7 で作成した図面データを Ver.4 以降の CAD で読込可能にさせる場合

ファイルタイプを以下のもに変更してください。レイヤをシートに振り分ける必要はありません。

バージョン	ファイルタイプ
Ver.4	BV-E
Ver.5	BV-G
Ver.5.5	BV-J
Ver.6	BV-L